

空調タイムズ

THE AIR-CONDITIONING TIMES

購読料一ヵ年18,000円 発行日毎週水曜日

流浸工業

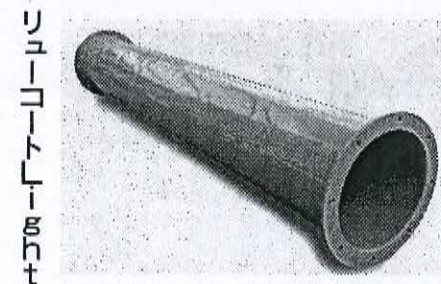
採用相次ぐ「リユーコート」

独自の樹脂コーティング鋼管

流動浸漬法によるコーティング鋼管のパイオニア、流浸工業(社長 大久保幸廣氏、本社・大阪府堺市美原区大保225)が自社ブランドで展開する「リユーコート」が首都圏を中心に存在感を高めている。東京都内の再開発プロジェクトや大規模商業施設、オフィスビル、総

合病院、集合住宅の新築物件などに相次いで採用されている。需要の裾野拡大を視野に入れ、歩みは力強さを増している。流動浸漬法は、流動浸漬用パウダーを入れた槽の下部に多孔質の隔壁を設け、ここに圧力をかけた空気を注入、圧力で隔壁上部の粉体を均一に浮

かす。この流動層に加熱した基材を浸漬することでピンホールのない均一な塗膜(膜厚200μm以上)を形成する技術。樹脂コーティングの素材は、特性が平均的に優れ、耐海水性、消音特性にも優れるナイロン、耐溶剤性に優れるEVOH、良好な諸特性を発揮する

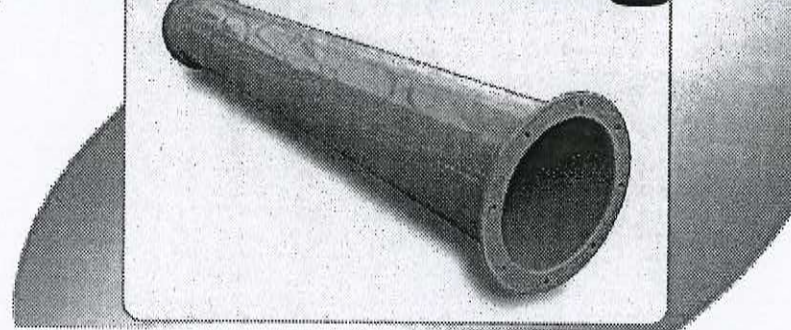


リユーコートLightは、塩ビ、耐薬品性、防錆力に特徴を持つポリエチレンなどがあり、注文内容に応じて用いる樹脂の特性を考慮し、適用する。流浸工業が手がけるのは、ナイロンII、塩ビ、EVOH、ポリエチレンなどの樹脂を流動浸漬法により鋼管の内外面にコーティングする自社ブランド「リユーコート」と同工法により1.6tの鋼板を溶接したスパイラル鋼管に塩ビコーティングを施す「リユーコートLight」及び1.6tの鋼板をハゼ折したスパイラル鋼管に塩ビコーティングを施す「リユーコートダクト」。塩ビ樹脂、EVOH樹脂は、パウダーの製造から自社で行うなど、こだわりのモノづくりで安定した高品質を確保している。

Inch model

内外面PVC樹脂コーティングスパイラル鋼管

リユーコート® Light



リユーコート鋼管の更なる可能性を求めて開発しました。

腐食に強く、耐候性にも優れています。

臭突管等の配管腐食対策に最適です。

- 1. 6tスパイラル鋼管と薄型フランジを使用、軽量で施工のスピードアップが可能です。
- 腐食に強く、大口径にも対応。耐候性にも優れ、屋外でも使用できます。

継手
ラインナップ



45°エルボ



90°エルボ



レジュース



チーズ



割フランジ

ISO9001
認証工場(本社工場)
日本水道協会検査工場
第B-172(関東工場)
ISO14001
認証工場(本社工場)
日本水道鋼管協会 WSP会員

流浸工業株式会社

<http://www.ryushin.jp/>

本社・工場
〒587-0001 大阪府堺市美原区大保225番
TEL:072-362-2331(代) FAX:072-362-3652

関東事業部・工場
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原字下林673-20
TEL:048-532-3731(代) FAX:048-532-7000

奈良工場
〒632-0245 奈良県奈良市蘭生町734-1
TEL:0743-82-0684(代) FAX:0743-82-1865

リユーコートLightは板厚6tの薄型フランジの使用により、大幅な軽量化を実現、施工のスピードアップを実現する。腐食に強く耐候性にも優れ、臭突管や排気管などの配管腐食対策に適する。0.3MPaの気圧でも漏れが発生しない気密性を確保しているのも大きな特徴。口径150A~500Aまで加工可能。リユーコートダクトは臭突管、排気管での使用が多い。150φ~500φまでの口径に対応する。

コーティング鋼管、コーティングスパイラル鋼管など独自の製品群は昨年、東京、大阪で開催された管工機材・設備総合展に展示され、大きな反響を呼んだ。今年も専門展示会への出展を通じて幅広くアピールすることを検討しており、あらゆる機会をつかまえて需要開拓を進めたい考えだ。